

10903陶磁器・同関連製品製造業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2020	1	8 ～ 9	高さ約80cmの焼成台車の縁に乗って製品を確認した後、下りる際に足を滑らせて落下し、左手首を骨折した。	47	1	229	50 ～ 99
2	2020	1	22 ～ 23	工場洗浄中、ホースがねじ曲がっていたため、ねじれをほどく際、ホース先端が左目に当たり、網膜剥離を負った。	55	6	391	30 ～ 49
3	2020	4	14 ～ 15	工場、セラミックスの外周研磨作業中、回転している研削砕石に指が触れ、右手人差し指に裂傷を負った。	38	8	153	50 ～ 99
4	2020	5	10 ～ 11	工場内で、電動サンダーを使ってタイルの面取りをしていた際、軍手に磁石が絡み、左手のひらから前腕にかけて挫創を負った。	25	7	169	50 ～ 99
5	2020	5	16 ～ 17	投光器（高さ2.2m）を取り外す作業中、移動式台車上にある容器に左足を掛けた際、容器が傾き40cmの高さから着地したため、左膝に体重が掛かり、左脛骨を折った。	43	1	417	500 ～ 999
6	2020	7	13 ～ 14	工場内で、段ボール板（230mm×480mm）80枚を高さ320mm、約4.4kgを両手で持ち運搬中、パレットに積んであった木箱（250mm×550mm×270mm）につまずき、前のめりに転倒した。その際、右前腕を骨折した。	70	2	417	50 ～ 99
			10	作業場で、木の皿板を6枚両手に持って運んでいるとき、前方に他				1～

7	2020	7	～ 11	の職員がいたので避けるために両手を動かしたとき、左腕を痛め、 左肘関節捻挫を負った。	43	19	522	9
8	2020	9	～ 17	倉庫で、3段のケース棚を屈んだ姿勢で一番下のケース型を探して る途中、一番上の棚が崩れ、ケース型が落下し、腰に当たり打撲を 負った。	38	4	391	50 ～ 99
9	2020	10	～ 12	ベルトコンベアで流れてくるタイルを選別していたとき、踏み台に 上がった際によろけて転倒し、後ろに置いてある金属製の箱に右手 首をぶつけて骨折した。	75	1	371	50 ～ 99
10	2020	10	～ 11	工場内に泥を溜める溝（約1㎡）があり、その溝の掃除をするた め、走行クレーン（5t未満）で鉄板の蓋（1220×490×10 mm、60kg）を吊り上げた。その後、グレーチングを外そうとした 際、吊っていたが鉄板が落下し、左手甲に当たって骨折し、中指に 切創を負った。	63	4	521	1～ 9
11	2020	11	～ 18	17 工場で、床清掃中、近くで稼働している搬送ベルトコンベアーのベ ルト部分の清掃（業務に含まれていない）をした際、左手親指がベ ルトとキャリアローラーに挟まれ、左親指に挫滅創を負い、不全切 断した。	38	7	224	30 ～ 49
12	2020	11	～ 17	16 工場内で、プレス機の清掃中、機械を手動に切り替え作業した際、 タッチパネルに触れ、右手の甲が挟まれ、挫傷を負った。	48	7	164	10 ～ 29
13	2020	11	～ 9	8 検査組立耐張引張試験作業中、耐張碍子を試験し合格品を両手に2 個ずつ計4個持ち、試験機後方のコンベアに載せ替えていたとき、 右足軸にして左側に反転した瞬間ブチッと音がして右足ふくらはぎ に損傷を負った。	46	19	921	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。

